

つながりあい、支えあうまちを目指して

地域福祉に関する団体アンケート（案）

ご協力をお願い

日ごろから区政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

江東区では現在、「江東区地域福祉計画（計画期間：令和4年度～令和7年度）」に基づき、『一人ひとりの尊厳が守られ、地域でともに支えあい、誰もが笑顔で安全に暮らせるまち』の実現に向けて、区民、地域活動団体、関係団体等と連携して取り組んでいますが、近年の社会経済状況や法律の制定・改正を踏まえて、令和7年度に計画を改定します。

本調査は、計画改定にあたり、団体等の皆さまから、区の地域福祉に関する現状や取組に対する意見等をお伺いするものです。

皆さまからの回答は、区の地域福祉計画の改定ならびに施策・事業の見直し等に活用します。お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和6年9月

江東区長 大久保朋果

【回答にあたってのお願い】

- 調査への回答方法は、紙の調査票か、インターネットか、どちらかを選んで回答してください。
（両方に回答しないよう、お願いします。）

回答（投函）期限 令和6年10月18日（金曜日）

紙の調査票の回答方法

- ・ 選択肢の設問については、該当する番号に○をつけてください。
- ・ 自由回答の設問には、貴殿、貴団体の考えを簡潔に記入してください。

インターネットの回答方法

- ・ 右下の二次元コードか、URLから回答用のページにアクセスしてください。
（URL）https://questant.jp/q/koutou_chiiki_dantai
- ・ 設問は7問です。途中保存はできませんので、お時間のあるときにお答えください。



なお、本調査の実施・とりまとめは、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所に委託しています。

【本調査についてのお問合せ先】株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

電話：●●●●●●●●フリーダイヤル番号を記載

メー ル：●●●●●●●●問い合わせ用メールアドレスを記載



江東区地域福祉計画（令和4年3月策定）の概要

区ホームページ（江東区地域福祉計画）

<https://www.city.koto.lg.jp/210157/fukushi/20200916.html>



区ホームページ

●基本理念（地域福祉に関する基本的な考えであり、江東区で実現すべき地域福祉の将来像）

一人ひとりの尊厳が守られ、地域でともに支えあい、 誰もが笑顔で安全に暮らせるまち

一人ひとりの尊厳が守られ	● 多様な価値観をお互いに認めあい、一人ひとりの権利が大切にされる地域社会
地域でともに支えあい	● 制度や分野の垣根を取り払い、「支え手」「受け手」という関係をを超えて、どんな時も寄り添い、助けあう活動が広がる地域社会
誰もが笑顔で安全に暮らせるまち	● 区民、地域、団体、企業等のつながりの中で誰もが安全に安心して自分らしく生き、すべての老若男女に自然と笑顔があふれる地域社会

●基本方針（基本理念の実現に向けて展開する施策の方向性）



基本方針Ⅰ 3つのつながりをつくる

地域の助けあいや見守り等、区民同士の日ごろの多様なつながり（地域のつながり）、所管分野を超えた行政内部のつながり（行政のつながり）、地域と行政との連携・協働（地域と行政のつながり）の「3つのつながり」をつくり、包括的な支援体制の構築に向けた取組を進めます。

- ＜施策＞ ・地域のつながりをつくる ・行政のつながりをつくる
・地域と行政のつながりをつくる

基本方針Ⅱ 誰もが大切にされる社会をつくる

少子高齢化・核家族化の進行や感染症の流行等、私たちの暮らしを取り巻く状況が大きく変化する中で、多様性を認め、区民の生命と暮らしを守る社会の形成に向けて、一人ひとりの尊厳を守り、本人の希望に応じた社会参加ができる環境整備を進めます。

- ＜施策＞ ・人に優しいまちをつくる ・一人ひとりの尊厳を守る
・災害時の福祉を向上させる ・誰もが社会参加できる仕組みをつくる

基本方針Ⅲ 地域福祉の基盤をつくる

地域福祉の向上に資する取組を進めるうえで共通して必要となる基盤として、わかりやすい情報発信、福祉人材の確保・育成、共生社会への意識啓発等の取組を進めます。

- ＜施策＞ ・情報の適切な活用を図る ・福祉の質を向上させる
・啓発活動を推進する

1 貴殿、貴団体の活動について

問1 貴殿、貴団体の活動状況についてお答えください。

①団体名等 (記述)	
②記入者のお名前 (記述)	
③活動の主な対象 (〇はいくつでも)	1 区民全般 2 障害児・者 3 高齢者 4 こども、子育て家庭 5 ひきこもり及び家族 6 その他 ()
④主な活動内容 (記述方法は自由)	(例 会員数、利用者数、活動の内容・頻度等)

問2 主な活動エリアについてお答えください。(地区番号を〇で囲んでください)(〇は1つ)

- 1 白河地区：清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
- 2 富岡地区：佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
- 3 豊洲地区：塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
- 4 小松橋地区：千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
- 5 東陽地区：木場、東陽、南砂二丁目1番1号～5号、5～7番
- 6 亀戸地区：亀戸全区域
- 7 大島地区：大島全区域
- 8 砂町地区：北砂全区域、東砂一～五丁目、南砂一丁目、南砂二丁目24番～34番、南砂五丁目
- 9 南砂地区：東砂六～八丁目、南砂二丁目(1番1号～5号、5番～7番、24番～34番を除く)、南砂三・四・六・七丁目、新砂一丁目(1番を除く)、新砂二・三丁目、新木場
- 10 区内全域、特に決めていない

問3 貴殿、貴団体のこれからの活動について、ぜひお聴かせください。

①これからの活動の展望や目指したいこと（記述方法は自由）

（例えば、今後5年間で想定して具体的に記載）

②上記①を実現するために必要なこと（記述方法は自由）

（例えば、今後5年間で想定して具体的に記載）

2 区の地域福祉についての意見・提案

問4 〔地域のつながりをつくる活動について〕 身近な地域の中で、様々な背景を持つ人々が集い、交流する活動に関する現状への意見と、“こんな取組や仕掛けがあると、区民はもっと参加しやすい”といった提案・アイデアをぜひお聴かせください。

①現状への意見（記述方法は自由）

②取組や仕掛けの提案・アイデア（記述方法は自由）

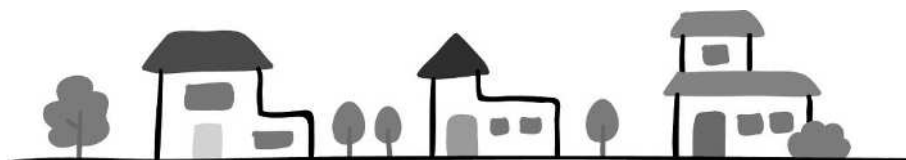
（例えば、性別・年齢・障害・国籍等を問わずに交流できる（したくなる）アイデア、自治会、福祉団体、支援者、サービス事業者、医療機関、学校、商店・企業等ができること 等）

問5 「誰もが大切にされる社会をつくる活動について」 区の取組ア～エに関する現状への意見と、取組の充実にに向けた提案・アイデアをぜひお聴かせください。

①現状への意見	②取組の充実にに向けた提案・アイデア
ア 人に優しいまちをつくる（まちのバリアフリー化、移動支援）	
イ 一人ひとりの尊厳を守る（意思決定支援、虐待・DV防止、生活困窮・居住支援）	
ウ 災害時の福祉を向上させる（防災教育、災害時要配慮者の支援）	
エ 誰もが社会参加できる仕組みをつくる（就労・社会参加の支援、子育て・介護等と生活の両立支援）	

問6 〔地域福祉の基盤をつくる活動について〕 区の実践ア～ウに関する現状への意見と、実践の充実に向けた提案・アイデアをぜひお聴かせください。

①現状への意見	②実践の充実に向けた提案・アイデア
ア 情報の適切な活用を図る（情報発信、支援関係者間の情報共有、デジタル活用策）	
イ 福祉の質を向上させる（福祉人材、サービスの質の向上、関係機関との連携によるアウトリーチ）	
ウ 啓発活動を推進する（学ぶ機会の充実、多様性や共生社会に対する理解促進）	



3 区の地域福祉に関する意見・提案

問7 最後に、ここまでの設問以外で、区の地域福祉に関する施策、体制、活動等に関する意見や提案がございましたら、ぜひお聴かせください。（記述方法は自由）

アンケートは以上です。ご協力をいただきましてありがとうございました。

※記述欄が足りない場合は、調査票のコピーや別紙でのご提出も可能です（様式は自由）。